



平成16年 1月 5日

各 位

会社名 楽 天 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史  
(登録銘柄・コード4755)

問合せ先

常務取締役 山田 善久  
電話 03-4523-8001

## 株式会社ローソンチケットとの業務提携 及び同社への出資に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、下記の通り株式会社ローソンチケットとの業務提携及び同社株式の一部を取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式会社ローソンチケットの概要

(1) 商 号	株式会社ローソンチケット		
(2) 代 表 者	代表取締役社長 岡田 稔		
(3) 所 在 地	東京都渋谷区神南一丁目19番4号		
(4) 設立年月日	平成4年7月23日		
(5) 事業の内容	音楽・演劇・スポーツ・映画等のチケット販売ならびにチケット販売システムの企画運営管理業務		
(6) 株 主	株式会社ローソン	27,920株	(69.5%)
	三菱商事株式会社	2,300株	(5.7%)
	大日本印刷株式会社	1,470株	(3.7%) 等
(7) 決 算 期	2月末日		
(8) 従 業 員	143名	(平成15年12月11日現在)	
(9) 営 業 収 益	54億4,471万円	(平成15年2月期)	
(10) 経 常 利 益	7億8,045万円	(平成15年2月期)	
(11) 当社との関係	なし		

#### 2. 業務提携の内容

当社グループは総合インターネットサービス企業グループとして、インターネットショッピングモール『楽天市場』、インターネット検索ポータル『infoseek』、宿泊予約サイト『旅の窓口』、オンライン証券取引サービス『DLJディレクト SFG』を中核に、インターネットを通じたメンバーサービスの向上・多角化を図るべく新規事業の開発及び取扱分野の拡大に注力しております。

インターネットを通じたチケット販売は旅行関連分野と同様にエレクトロニック・コマース（EC）に適した分野の一つとして今後も順調な伸びが期待できることから、当社グループは平成15年2月、株式会社ビットウェイブが運営するオンラインチケット販売 ASP 事業の営業譲渡を受け、平成15年5月より『楽天チケット』を開設し、当該事業へ参入いたしました。

以後、顧客満足度を向上すべく、取扱チケットの品揃えの充実を図ってまいりましたが、チケット事業立ち上げのスピードをより加速するためには既存事業者との提携が望ましいとの判断に

至り、今般、斯業大手である株式会社ローソンチケットと業務提携を行うことになりました。

株式会社ローソンチケットはチケット販売取扱高400億円を越える業界2位のプレイガイド(チケット販売事業者)であり、全国7,700店舗ものローソン店舗をはじめ、インターネットやモバイルを通じてチケットの販売を行っております。

今回の業務提携を通じて、当社は株式会社ローソンチケットが仕入れるチケットを、当社グループのサイトを通じてプロモーションし、販売を行ってまいります。また、今回の業務提携を機に、当社グループの各サービスと全国に展開しているローソン店舗網を活用した協業等についても順次検討していく予定です。

### 3. 株式取得の方法

株式会社ローソンチケットが第三者割当増資により発行する株式9,800株の引受を行なう予定です。(総投資額予定:1,548百万円)

### 4. 株式取得の日程

平成16年1月21日 第三者割当増資払込(予定)

### 5. 株式取得前後における当社の議決権の数およびその議決権の総数に対する割合

	(取得前)	(取得後)
① 当社所有議決権数	0個	9,800個
( 当社所有株式数	0株	9,800株 )
② 議決権の総数	40,200個	50,000個
( 発行済株式数	40,200株	50,000株 )
③ 議決権の総数に対する割合	0%	19.60%
( 発行済株式数に対する割合	0%	19.60% )

### 6. 株式取得の理由

今回の業務提携をより強固なものとするために、今次株式取得を決定いたしました。

### 7. 今後の業績に与える影響

当社では、インターネット業界の歴史が浅いこと及び環境の変化が激しいことなどの理由により、従前より業績見通しを発表しておりません。

本業務提携を通じて、当社グループのオンラインチケット販売事業の業務効率向上が見込まれますため、平成16年12月期の当社連結業績指標(売上高、営業利益及び経常利益)について、与える影響は軽微であると考えております。なお、具体的な影響額等については、現時点は不明です。